

JR東海労なごや

2011年2月9日 No 835
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇

財源・環境・安全は?? リニア新幹線は本当に大丈夫か?

東濃・リニアを考える会主催

「リニア中央新幹線を考える学習会」開催

各分野の専門家が課題・問題点を解明



東濃リニアを考える会主催による、「リニア中央新幹線を考える学習会」が2月6日中津川市にぎわいプラザで開かれました。

はじめに、菅井陽一準備委員長からの挨拶があり、川村晃生慶応大学教授がコーディネーターを務め、各分野のスペシャリストが報告を行い、専門の視点からリニア中央新幹線の課題、問題点などを討論しました。



様々な問題が浮き彫りになったパネルディスカッション

中川鮮前中津川市長

「リニア新駅を作るにあたって地元負担は350億となる。はたしてそれに見合うメリットはあるのか」「リニアの駅ができて、はたして地元が発展するか冷静に考える必要がある」



橋山禮治朗・千葉商科大学大学院客員教授

「需要、経済効果から見て失敗の可能性が高い」「需要を無視した大企業は失敗する」

荻野晃也・電磁波環境研究所所長

「リニアから発生する電磁波が人体に及ぼす影響がどの程度か議論されていない」「電磁波危険性を理解してほしい」



高原JR東海労働組合執行副委員長

「JR東海会社はまだ巨額な長期債務をかかえている、このまま建設を進めては会社の経営を圧迫することはあきらか」「組合側に何ら説明も情報も開示しないのが実態」



会場から活発な意見

参加者から「リニアの環境への影響」「なぜJR



東海会社はリニア資料を公に公表しないのか」「工事によって破壊される環境について」など多くの意見をいただきました。また当日斡旋販売していたリニア関係書籍はすべて完売するなど参加者の関心の高さをうかがえました。

学習会は150名を集め大成功に終わりました!

